

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社
2020年7月31日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

Copyright © 2008 Ushio Inc., All Rights Reserved

未来は光でおもしろくなる

USHIO



- ① 新型コロナウイルス（COVID-19）による業績等の影響アップデート
- ② 新型コロナウイルスの影響により、
FY2020 1Q(実績)及び 通期業績(予想)ともに、大幅な**減収減益**
- ③ FY2020 1株当たり配当額（予定）は **26円で据え置く**

- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
- II. FY2020 1Q業績概況
- III. FY2020 通期業績予想
- IV. トピックス
- V. 参考資料

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）影響のアップデート

（注）2020年7月31日現在の情報記載

当社グループの主な拠点の最新状況（サマリー）

- 新型コロナウイルス感染機会抑制を目的に、国内及び北米中心に在宅勤務・フレックスタイム制度活用促進を継続。
- 製造部門では、通常の生産体制維持も、一部で需要動向に合わせて生産調整を実施中。
 - シネマ用ランプ（国内・フィリピン）：生産調整中も、2Q以降に追加の生産調整を予定。
 - 映像装置（カナダ・中国）：生産調整を実施中。

2020年度の業績影響（前提）

ビジュアルイメージング分野

- 全世界映画館の約9割が休業状態継続。2Qから徐々に再開見込みも、現時点で相当レベルの再開は下期以降。
- アミューズメントパークなど商業施設再開は、一部地域で回復も低水準。各種イベント自粛は継続中。
- 新型コロナウイルス影響長期化による投資意欲減退から、設備更新抑制の傾向が継続。

エレクトロニクス分野

- 需要は堅調に推移するものの、一部光学装置の据付け・立上げ作業の遅れによる影響あり。

その他

- ウイルス抑制・除菌用紫外線照射装置（Care222関連製品）は、今年秋からの量産・販売を開始。
- 業績予想には、第2波による追加ロックダウン等は見込んでいない。

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 1Q業績概況**
 - III. FY2020 通期業績予想
 - IV. トピックス
 - V. 参考資料

売上高 : 236億円 (前年同期比▲152億円、▲39.1%)

新型コロナ影響で映像装置 及び シネマ用ランプ(光源)販売が大幅減少し減収

営業利益 : ▲7億円 (前年同期比▲28億円)

販管費抑制も、新型コロナによる減収影響により減益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : ▲10億円 (前年同期比▲23億円)

売上高・損益

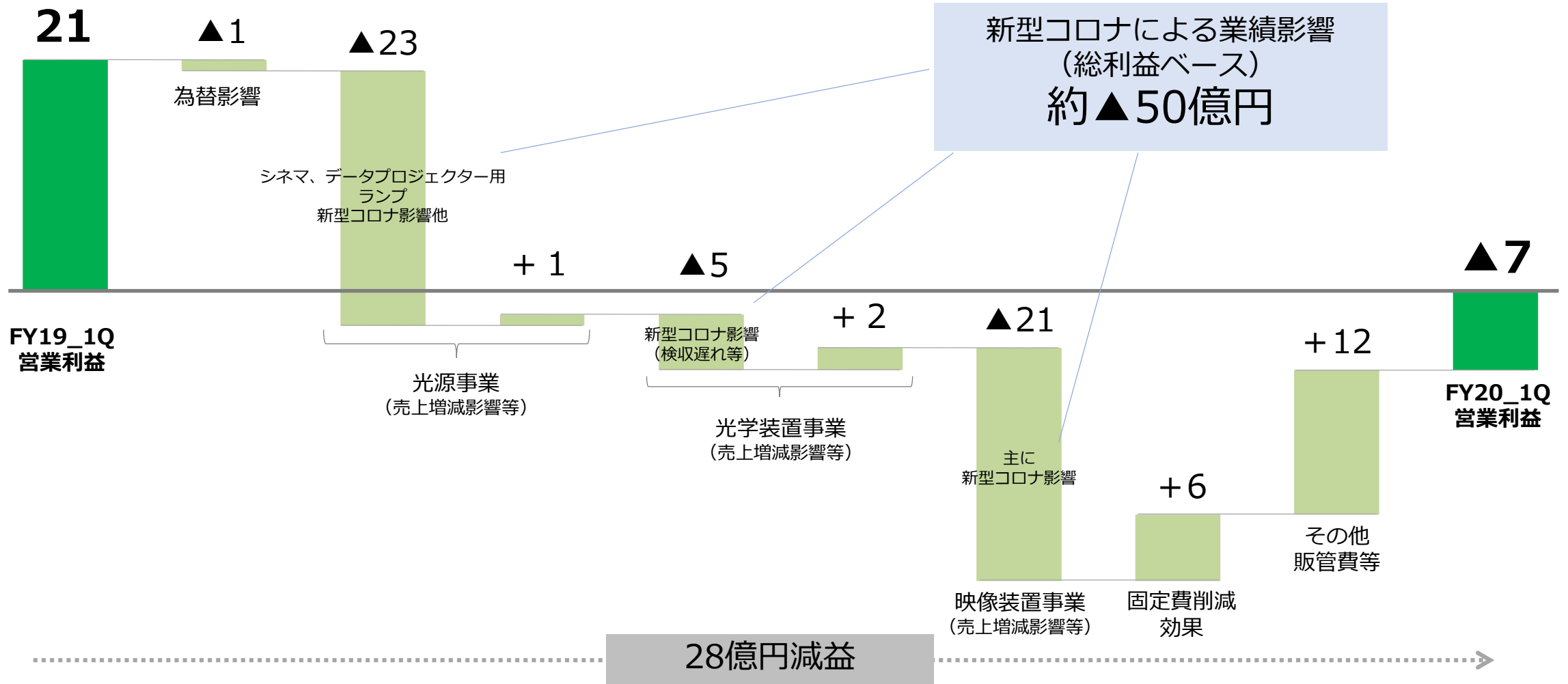
単位：億円		FY19 1Q	FY20 1Q	前年同期比	
				増減	%
売上高		389	236	▲152	▲39.1
営業利益又は営業損失（△）		21	▲7	▲28	—
営業利益率(%)		5.5	▲3.1	▲8.7P	—
経常利益		29	3	▲26	▲89.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は四半期純損失（△）		12	▲10	▲23	—
EPS（円）		10.02	▲8.76	▲18.78	—
為替レート（円）	USD	111	108	▲3	—
	EUR	124	118	▲6	—

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

前年同期比 営業利益増減分析

単位：億円



注：「光源事業（売上増減影響他）」～「その他販管費等」は、「為替影響」を除いた金額。

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円

		FY19 1Q	FY20 1Q	前年同期比	
				増減	%
光源事業	売上高	154	104	▲50	▲32.5
	営業利益	19	4	▲14	▲75.1
	営業利益率 (%)	12.5	4.6	▲7.9P	-
光学装置事業	売上高	89	71	▲18	▲20.4
	営業利益	1	0	▲0	▲30.2
	営業利益率 (%)	1.2	1.1	▲0.2P	-
映像装置事業 (注)	売上高	137	54	▲83	▲60.5
	営業損失 (△)	▲0	▲12	▲12	-
	営業利益率 (%)	▲0.2	▲23.9	▲23.7P	-
その他	売上高	7	6	▲0	▲8.3
	営業利益又は営業損失 (△)	0	▲0	▲0	▲230.3
	営業利益率 (%)	2.5	▲3.6	▲6.1P	-
全社・消去	営業利益	1	0	▲0	▲85.5

参考：光源事業の売上高内訳

	FY19 1Q	FY20 1Q	前年同期比	
			増減	%
放電ランプ	108	67	▲40	▲37.6
ハロゲン ランプ	26	20	▲6	▲24.4
固体光源	20	17	▲3	▲15.5

注：FY2019まで「装置事業—照明装置他」としていたものを含む
 注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

エレクトロニクス分野

<p>事業環境</p>	<p>エレクトロニクス関連市場の稼働はコロナ前に戻りつつあり、新規投資も下期に向け徐々に回復基調 FPD：液晶投資はほぼ一巡し、投資主体はOLEDに移行。韓国の液晶パネル生産減も中国の稼働は堅調 半導体・プリント基板等：5G向け投資が堅調も、スマートフォンなどの最終消費材の需要が不透明</p>	
<p>光源事業</p>	<p>数値は前1Q比較 放_UVランプ + 1 億円 + 2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一部で新型コロナ影響による調達懸念により需要前倒しがあり、販売が増加 液晶パネルの過剰供給が継続し、韓国での生産減少によるリプレイス需要が減少
<p>光学装置事業</p>	<p>UV装置 ▲3億円 ▲8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ影響による需要回復が遅れ、直描式露光装置の販売が減少 最先端ICパッケージ基板向け露光装置は、販売台数増加も2Q以降に本格化
	<p>キュア装置 ▲18億円 ▲70%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 液晶関連装置は、投資が一巡し販売減少
	<p>その他 + 3 億円 + 13%</p>	<ul style="list-style-type: none"> EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源の販売増加

注：記載の金額は、「売上高」の前年同期比増減額及び比率

ビジュアルイメージング分野

<p>事業環境</p>	<p>新型コロナ影響により、ビジュアルイメージング関連市場は、総じて低調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全世界の映画館が休業状態継続。2Qより一部再開も再開方針は各国判断に委ねられ、先行き不透明 ・アミューズメントパークなど商業施設は、アジアから徐々に再開も投資低迷。各イベント自粛は継続 ・新型コロナ影響により、一般プロジェクターやOA機器需要が鈍化 	
<p>光源事業</p>	<p>数值は前1Q比較 放_シネマ用ランプ ▲29億円 ▲91%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界的な映画館休業によりスクリーンの稼働が大幅低下しリプレ需要が減少
	<p>放_データ プロジェクター用ランプ ▲10億円 ▲59%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ影響によりプロジェクター需要が減少し、ランプ需要が減少
	<p>ハ_OA用ランプ ▲4億円 ▲28%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ影響によりO A 機器需要は鈍化し、ランプ販売本数が減少
<p>映像装置 事業</p>	<p>シネマ ▲33億円 ▲58%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界の映画館休業長期化により、投資意欲減退でプロジェクター販売が減少
	<p>一般映像 ▲49億円 ▲65%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント、アミューズメントパークなどの商業施設向け案件が減少

注：記載の金額は、「売上高」の前年同期比増減額及び率

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 1Q概況
 - III. FY2020 通期業績予想**
 - IV. トピックス
 - V. 参考資料

通期業績予想

単位：億円		FY20 通期予想		FY19 通期	差異		FY20 1Q
売上高		1,250	~ 1,350	1,590	▲340	~ ▲240	236
営業利益又は営業損失 (△)		▲50	~ 5	66	▲116	~ ▲61	▲7
営業利益率 (%)		▲4.0	~ 0.4	4.2	▲8.2	~ ▲3.8	▲3.1
経常利益又は経常損失 (△)		▲35	~ 20	87	▲122	~ ▲67	3
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失 (△)		▲75	~ ▲20	89	▲164	~ ▲109	▲10
EPS (円)		▲62.23	~ ▲16.59	73.25	▲135.48	~ ▲89.84	▲8.76
ROE (%)		▲3.8	~ ▲1.0	4.3	▲8.1	~ ▲5.3	▲0.5
設備投資額		80		82	▲2		18
減価償却費		70		71	▲1		15
研究開発費		100		101	▲1		24
為替レート (円)	USD	105		109	▲4		108
	EUR	120		121	▲1		118

セグメント別 売上高、営業利益 予想／2Q以降の見込み

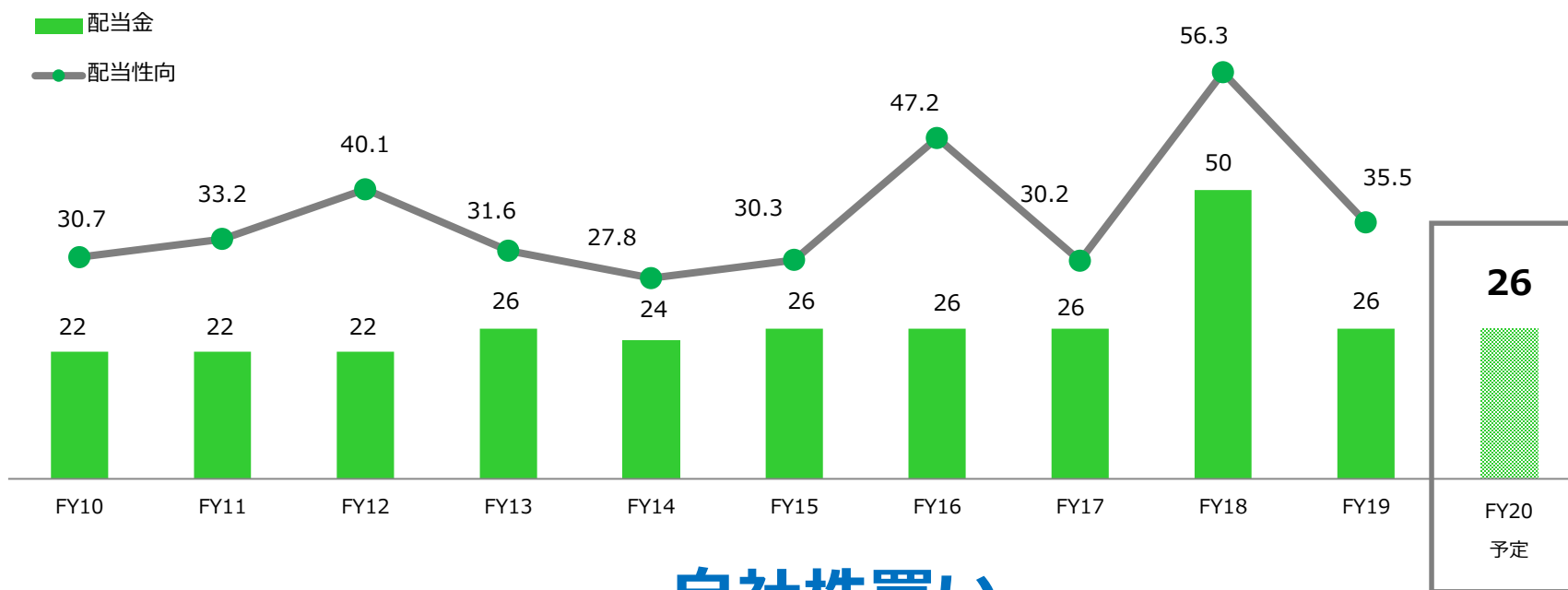
単位：億円

		FY20 通期予想	FY20 1Q	2Q以降の見込み
光源事業	売上高	480 ~ 520	104	<ul style="list-style-type: none"> ・シネマ用ランプ：映画館は、今後緩やかに再開（上限）2Q以降徐々に稼働は回復（下限）3Q以降に緩やかに回復も稼働は限定的 ・UVランプ：関連市場の需要は緩やかに増加 ・データプロジェクター用・OA用ランプ：低調に推移
	営業利益又は営業損失(△)	▲20 ~ 5	4	
	営業利益率	▲4.2%~ 1.0%	4.6	
光学装置事業	売上高	400 ~ 420	71	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端ICパッケージ基板向け投影露光装置は2Q以降販売増加 ・EUVマスク検査用EUV光源は、2Q以降も販売堅調 ・プリント基板向け直描式露光装置は、5G需要で緩やかに拡大 ・前期に拡大したCOF露光機は、投資一巡し低調
	営業利益	0 ~ 10	0	
	営業利益率	0.0%~ 2.4%	1.1	
映像装置事業 (注)	売上高	330 ~ 360	54	<ul style="list-style-type: none"> ・映像館はシネマ用ランプと同様の見込み ・アミューズメントパークなど商業施設や企業向け投資は徐々に再開も例年を下回り推移。イベントは自粛が継続し不透明 ・事業環境に合わせた生販体制の最適化推進
	営業利益又は営業損失(△)	▲30 ~ ▲10	▲12	
	営業利益率	▲9.1%~ ▲2.8%	▲23.9	
その他	売上高	40 ~ 50	6	
	営業利益	0 ~ 0	▲0	
	営業利益率	0.0%~ 0.0%	▲3.6	
合計	売上高	1,250 ~ 1,350	236	<ul style="list-style-type: none"> ・第2波（追加ロックダウン）は見込んでいない
	営業利益又は営業損失(△)	▲50 ~ 5	▲7	
	営業利益率	▲4.0%~ 0.4%	▲3.1	

注：FY2019まで「装置事業—照明装置他」としていたものを含む

1株当たり配当額 及び 配当性向

2021年3月期の期末配当金（予定）は、安定的な利益還元方針から、**1株当たり配当額26円**を据え置き



自社株買い

自己株式の取得は機動的に実施。保有する自己株式の上限は、発行済株式総数の5%を目途とし、その部分を上回る自己株式については毎年消却。

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 1Q概況
 - III. FY2020 通期業績予想
 - IV. トピックス**
 - V. 参考資料

USHIO

分割投影露光装置 (UX-5) 製造、販売

最先端・次世代パッケージの需要拡大

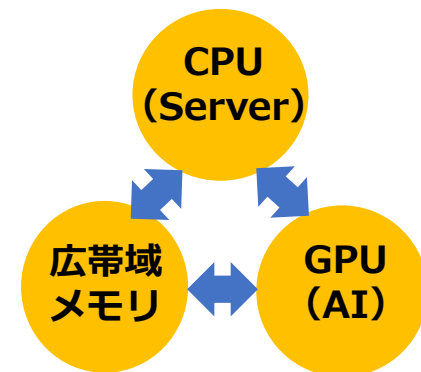


パッケージ基板
メーカー



IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場：年率20%以上成長（自社調べ）
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大



●世界シェア： 100%維持

ハイエンドBGA基板露光市場（自社調べ）

●UX-5の強み（特長）

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化・プロセスマージン

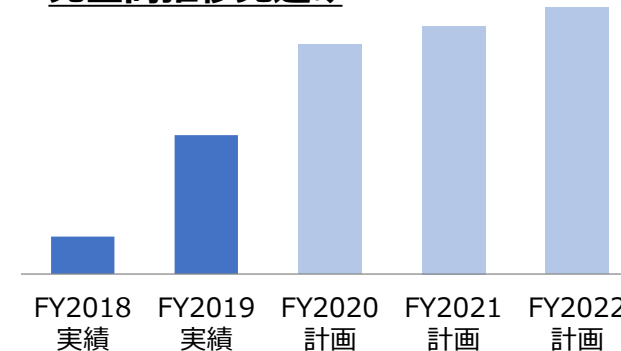


分割投影露光装置 (UX-5) 販売動向

FY2019 (実績)
下期より売上計上

FY2020 (見通し)
販売台数拡大

売上高推移見込み



USHIO

次世代半導体量産用EUV光源
開発、生産、販売



光源販売
メンテナンス



マスク検査装置メーカー
研究開発機関

半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大

ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

●ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
*極端紫外線露光システム開発機構
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへEUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

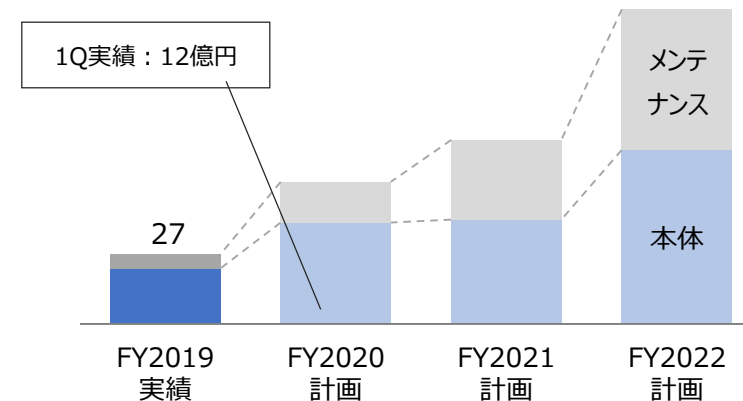
●ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

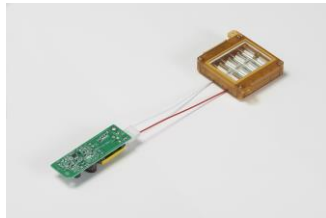
長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

売上高推移見込み (億円)



USHIO Care 222

222nmの紫外波長により
人や動物の皮膚や目に安全でありながら、
紫外線本来の殺菌、ウイルスの不活化を可能とする
新しい環境衛生ソリューション



モジュールタイプ



ユニットタイプ (デモ機)

●ウシオの強み

- 人体に無害な紫外線殺菌法の独占ライセンス保有 (コロンビア大学)
- 多様な空間形態に合わせた最適な照射プロセスソリューションの蓄積
- 液晶・半導体業界で培った高品質のエキシマランプ・モジュール製造技術

目指している貢献

パンデミックが起こらない安心・安全な環境の実現

(今回の新型コロナウイルスの感染拡大については医療崩壊を防ぐ一助に)

- 短期：2021年頃を目標
消毒・感染源除去による公衆空間の衛生度の向上
=> 例：病院の診察室・待合室・トイレ、介護施設、新幹線や飛行機・空港等
- 長期：2025年頃を目標
薬剤耐性菌（ウイルス以外）による院内感染防止 => 手術室消毒、手術部殺菌など（医療機器）

現在の進捗・今後の課題

- 量産化に向けたアクションの実施
 - ✓国内各研究機関へのデモ機の提供
 - ✓ランプは完成、モジュールは試作段階、使用環境に合わせた仕様検討
 - ✓量産に向けた設備投資及び実験・各種データの収集を継続
- 【今後の課題】
- 短期：安全性担保のための実証実験の蓄積及び使用方法に対する対応
=> 大学と実証試験結果の蓄積を加速
- 長期：薬機法等の認可取得 => 加速させるための活動を開始

●ウシオのCare222の特徴

<紫外線共通の特長>・・・従来の殺菌灯は254nmの水銀灯が主流

1. ノロウイルスや芽胞菌等アルコールや薬剤が効き難い菌の殺菌も可能
2. 耐性菌を作らない
3. 非接触・ノンケミカルであり、簡便な殺菌が可能



<従来の殺菌用途紫外線にはないCare222の特長>

1. 有人環境下での連続照射が可能・・・人の皮膚や目に悪影響を及ぼさない紫外線波長
2. 水銀不使用により環境負荷低減・・・水銀を含有しないエキシマ発光による紫外線ランプを使用

●ウシオのCare222開発の歩み

- 1992年 ウシオが世界に先駆けてエキシマランプの製品化
- 2015年 人体に無害な紫外線殺菌法の独占ライセンス契約及び研究委託契約をコロンビア大学と締結
- 2018年 世界初、神戸大学とウシオ電機が人体正常皮膚への222nm紫外線直接照射で障害なく常在菌の殺菌に成功
- 2020年 皮膚がんなどの発症なし 222nm紫外線（UV-C）繰り返し照射の安全性を世界で初めて実証

※新型コロナウイルスについて

現在、米国にて、新型コロナウイルスへの不活化効果を確認する実証実験中

人体に安全な殺菌灯の開発

【従来の殺菌灯】 生体への有害な作用 人体への使用は禁止されている

角膜炎
・炎症を起こす
・皮膚がんの可能性

【今回開発された殺菌、ウイルス不活化光源】 従来と同等の殺菌力を持つ

通常より約1万倍紫外線由来の皮膚がんができやすいマウス（Xpa-KOマウス）に、殺菌に必要な線量を持続照射

紫外線が表皮の下層まで到達しない

皮膚がんは全く形成されず、眼にも影響はなかった ⇒人体への安全性を証明した

【今後の応用】 医療分野から日常生活まで広い範囲で使用・応用が可能

手指殺菌 トイレ個室消毒 介護施設等での空間消毒

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 1Q概況
 - III. FY2020 通期業績予想
 - IV. トピックス
 - V. 参考資料**

光源	レーザー		ランプ	
	RGBレーザー	蛍光体レーザー	クセノンランプ	超高圧水銀ランプ
シネマ	 <p>CP4450-RGB CP4440-RGB CP4330-RGB CP2320-RGB他 明るさ(lm) <50,000</p>	<p>ラインナップなし</p>	 <p>CP2308 他 明るさ(lm) <45,000</p>	<p>ラインナップなし</p>
一般映像	 <p>D4K40-RGB他 明るさ(lm) <40,000</p>	 <p>Crimson GS シリーズ他 明るさ(lm) <30,000</p>	 <p>Roadie 他 明るさ(lm) <45,000</p>	 <p>Boxer 他 明るさ(lm) <30,000</p>
本体価格	★★★★★	★★	★★	★
本体寿命	★★★★★	★★★★	★★★★★ (ランプ交換を実施した場合)	★★★★★ (ランプ交換を実施した場合)
色	★★★★★	★★	★★★	★★

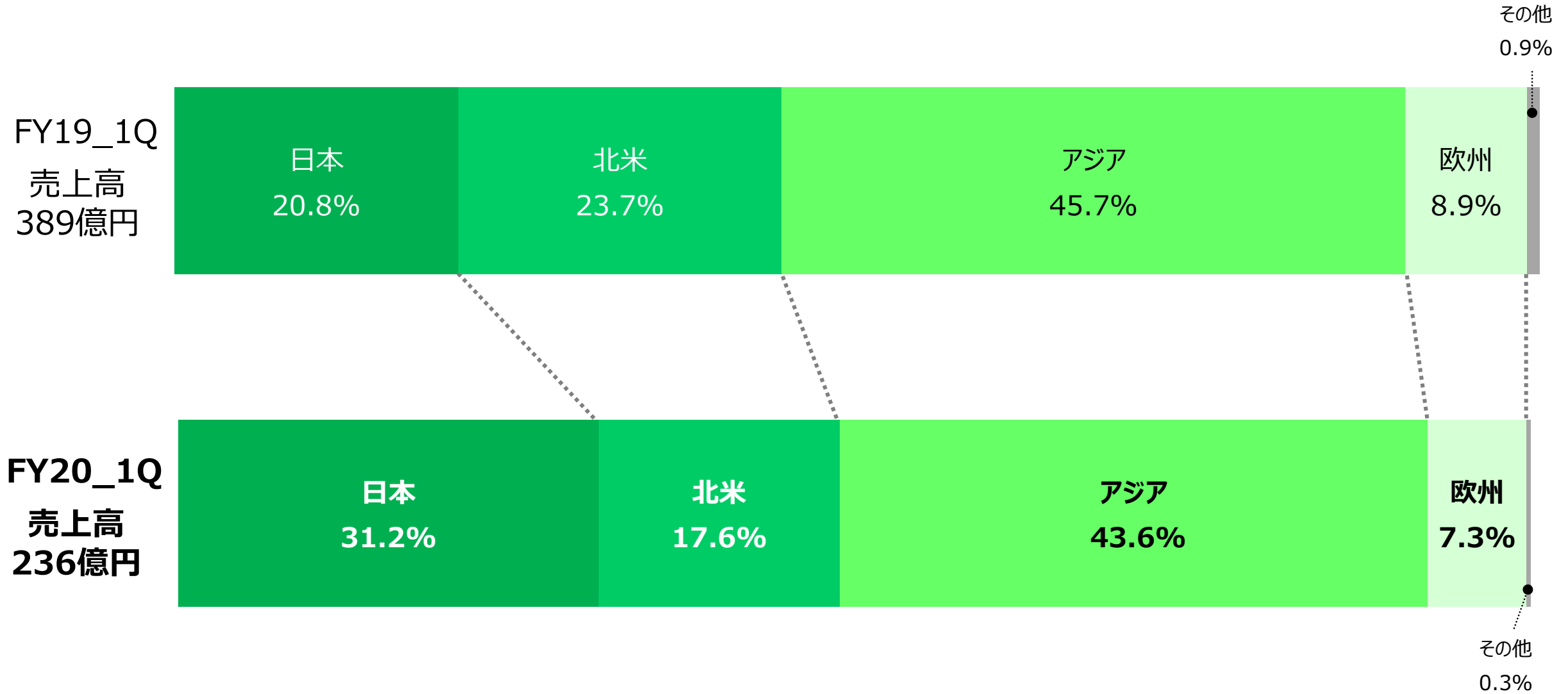
四半期推移《損益》

単位：億円		FY19				FY20	FY20 1Q - FY19 1Q		FY20 1Q - FY19 4Q	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減	%	増減	%
売上高		389	430	380	389	236	▲152	▲39.1	▲152	▲39.2
営業利益又は 営業損益 (△)		21	27	14	3	▲7	▲28	-	▲10	-
営業利益 (%)		5.5	6.3	3.9	0.8	▲3.1	▲8.7P	-	▲3.9P	-
経常利益		29	28	25	3	3	▲26	▲89.1	+0	+0.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 四半期純損失 (△)		12	17	57	1	▲10	▲23	-	▲12	-
EPS (円)		10.02	14.43	47.87	1.22	▲8.76	▲18.78	-	▲9.98	-
為替レート (円)	USD	111	108	109	109	108	▲3	-	▲1	-
	EUR	124	120	120	121	118	▲6	-	▲3	-

四半期推移《セグメント別損益》

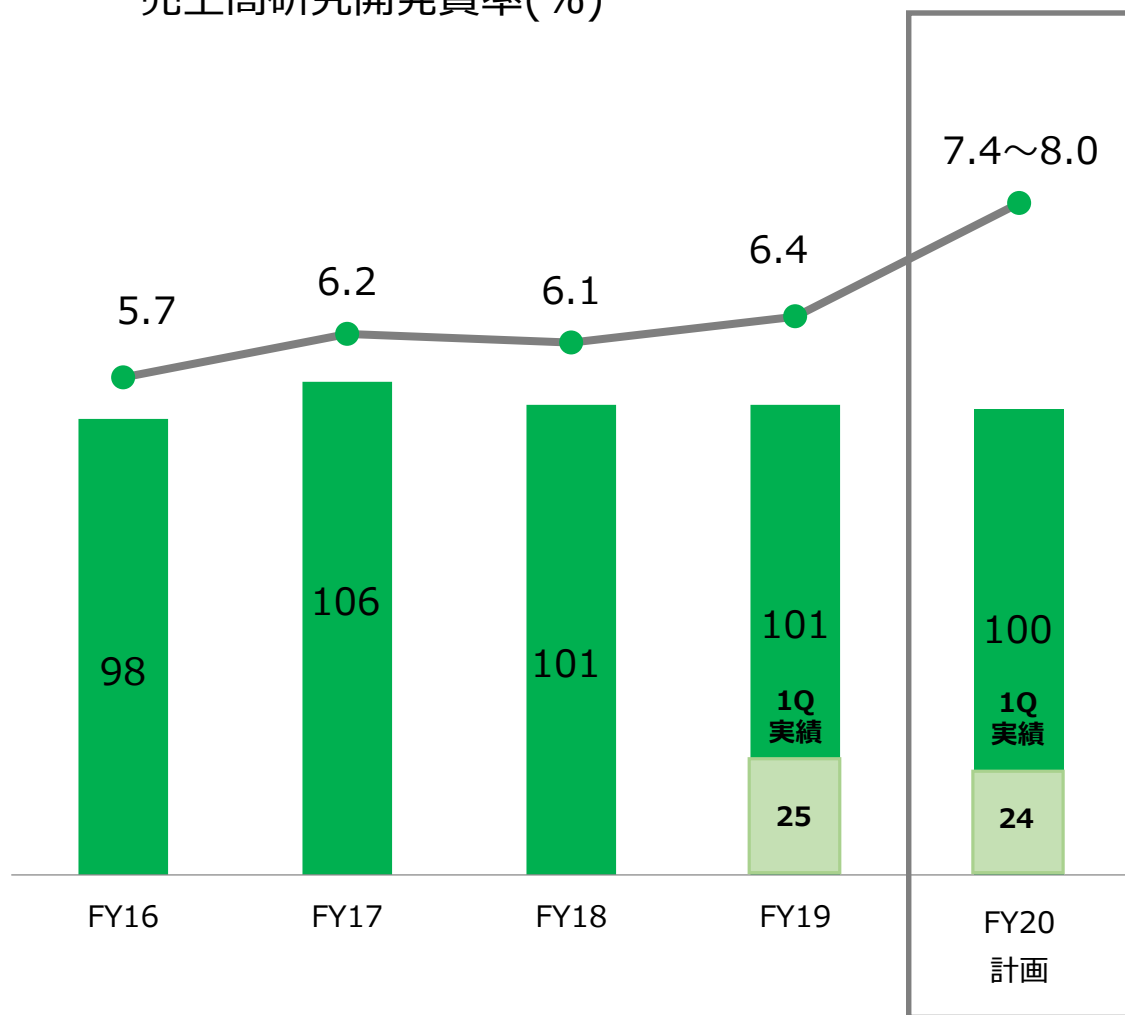
単位：億円		FY19					FY20	FY20 1Q - FY19 1Q		FY20 1Q - FY19 4Q	
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	増減	%	増減	%
光源事業	売上高	154	149	143	137	585	104	▲50	▲32.5	▲33	▲24.1
	営業利益	19	16	10	13	60	4	▲14	▲75.1	▲9	▲65.3
	営業利益率 (%)	12.5	11.2	7.3	10.1	10.3	4.6	▲7.9P	-	▲5.5P	-
光学装置	売上高	89	91	66	114	361	71	▲18	▲20.4	▲43	▲37.8
	営業利益又は営業損失 (△)	1	2	▲1	▲7	▲5	0	▲0	▲30.2	8	110.0
	営業利益率 (%)	1.2	2.4	▲2.0	▲6.8	▲1.6	1.1	▲0.2P	-	7.9P	-
映像装置	売上高	137	180	162	127	608	54	▲83	▲60.5	▲73	▲57.5
	営業利益又は営業損失 (△)	▲0	7	5	▲3	9	▲12	▲12	-	▲9	▲276.1
	営業利益率 (%)	▲0.2	4.0	3.4	▲2.7	1.5	▲23.9	▲23.7P	-	▲21.2P	-
その他	売上高	7	9	7	9	33	6	▲0	▲8.3	▲2	▲28.6
	営業利益又は営業損失 (△)	0	▲0	0	▲0	0	▲0	▲0	▲230.3	▲0	▲80.3
	営業利益率 (%)	2.5	▲0.0	3.5	▲1.4	0.9	▲3.6	▲6.1P	-	▲2.2P	-

地域別売上高比率

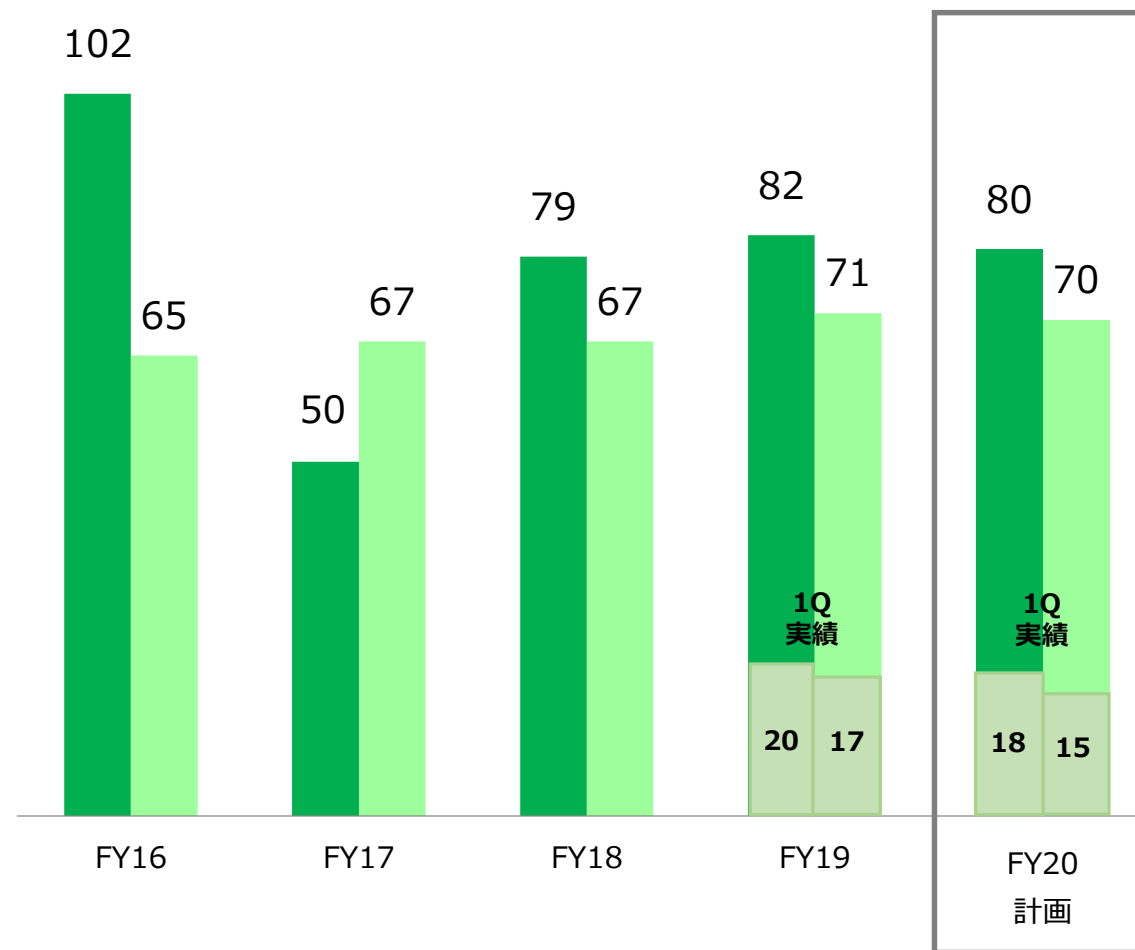


研究開発費／設備投資額・減価償却費

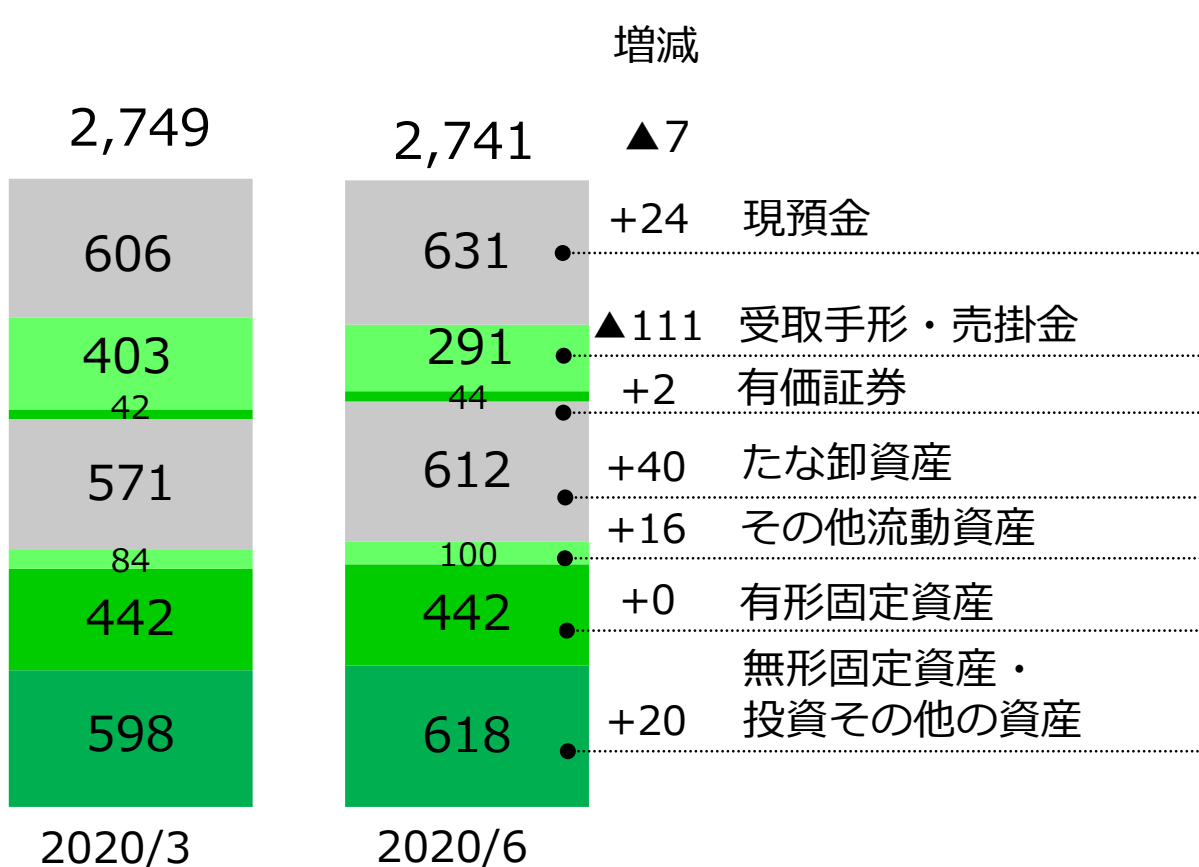
■ 研究開発費 (億円)
 — 売上高研究開発費率(%)



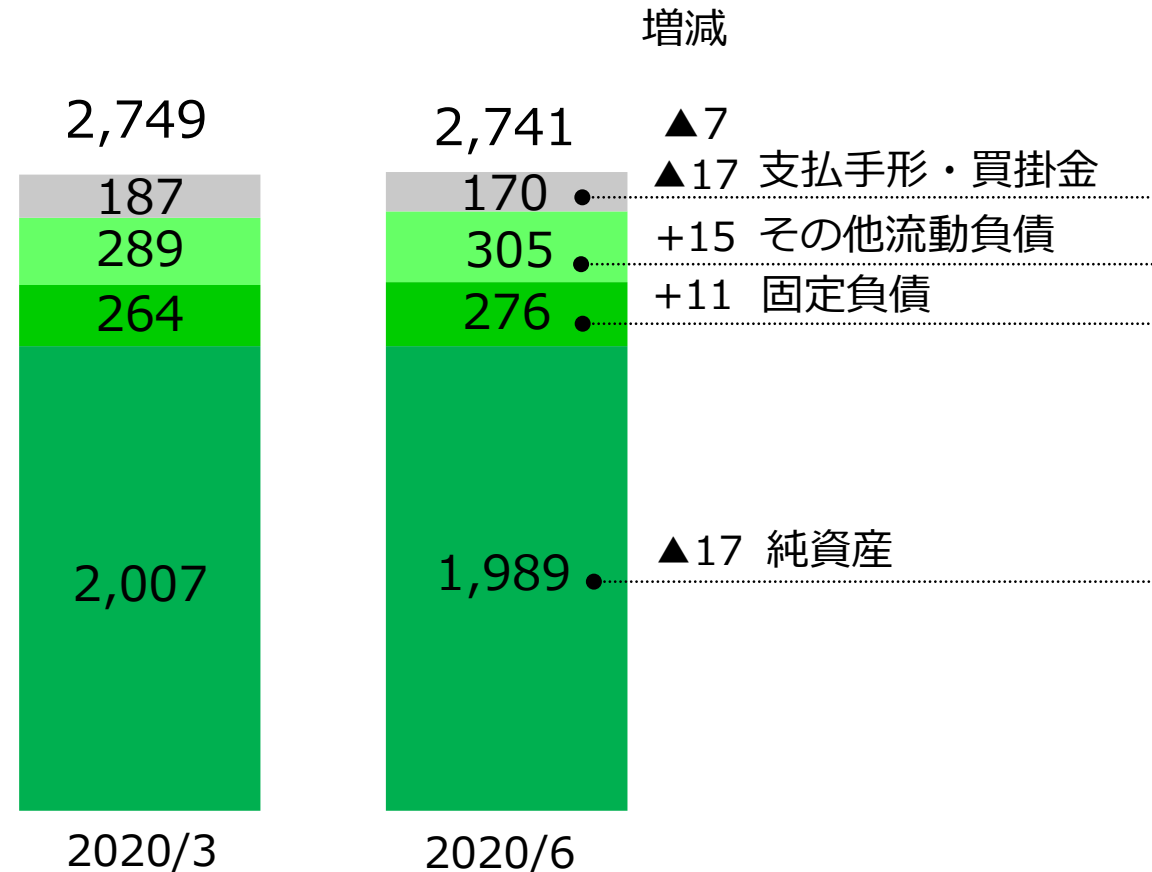
■ 設備投資額 (億円)
 ■ 減価償却費 (億円)



◆ 資産 (億円)



◆ 負債・純資産 (億円)

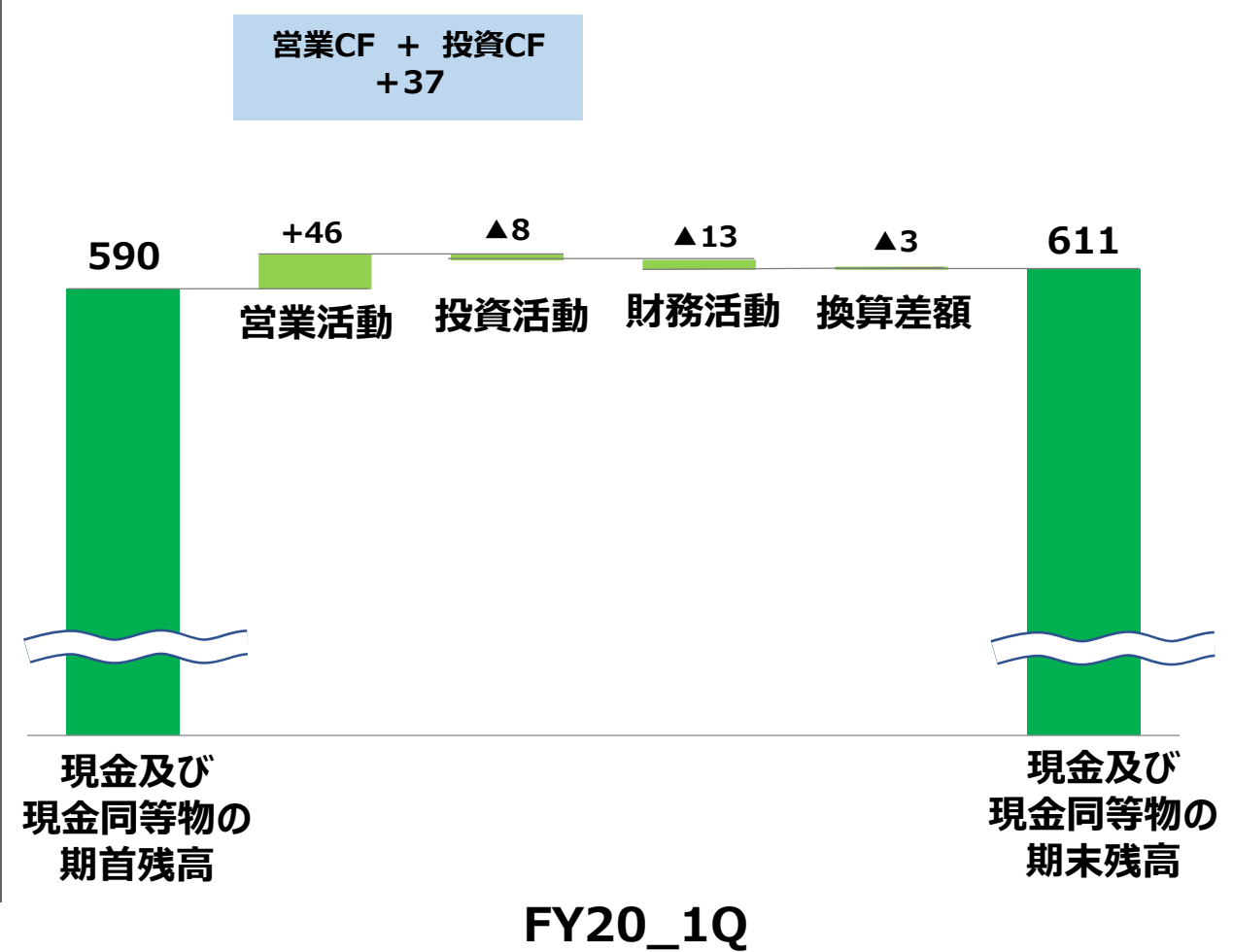
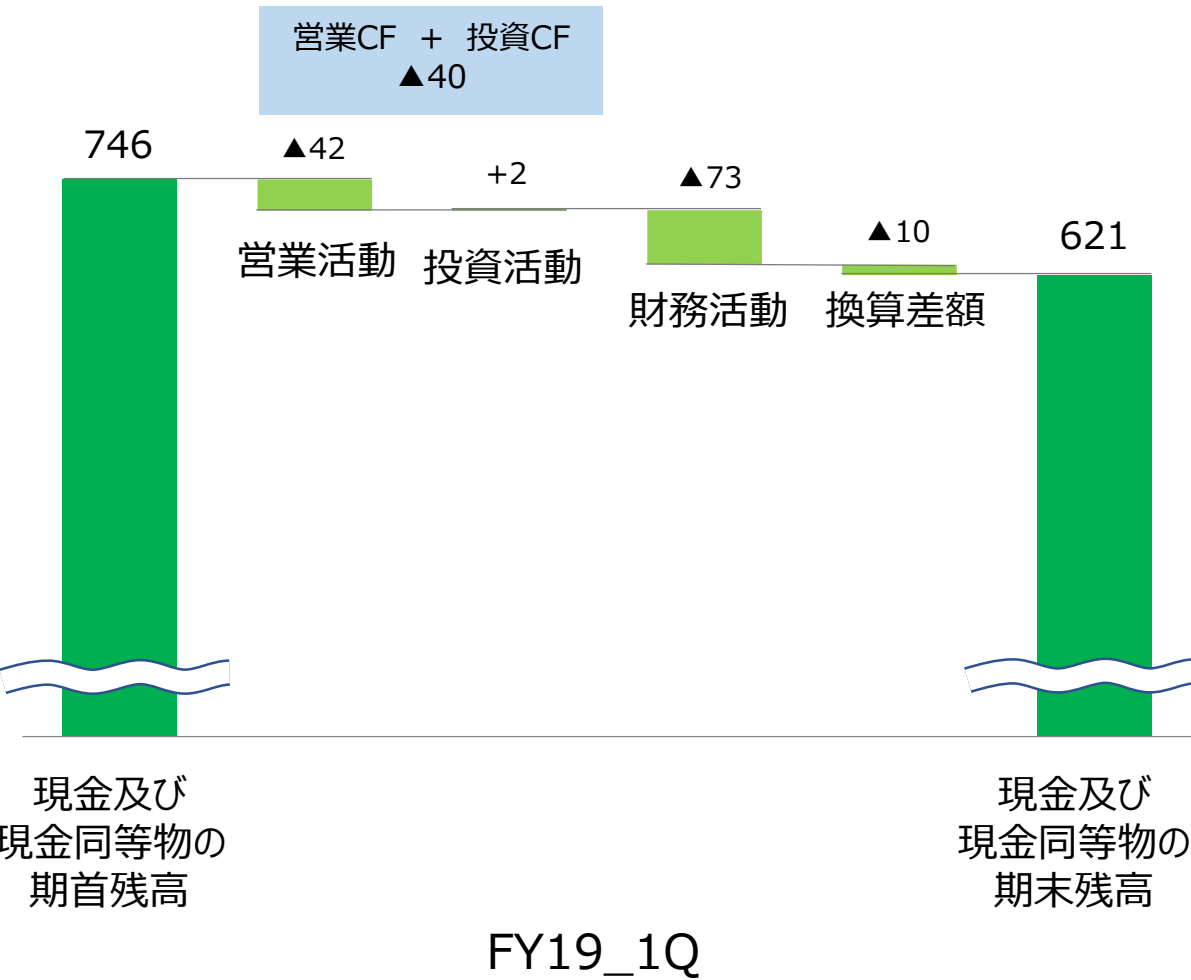


●回転月数 (ヶ月)	2020/3	2020/6
売上債権	3.0	4.4
たな卸資産	4.5	7.5

●自己資本比率 (%)	2020/3	2020/6
	73.0	72.5

キャッシュフロー

単位：億円



AI	Artificial Intelligence	人工知能
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
COF	Chip on Film	フレキシブル基板などのフィルム基板上へICチップを直接実装すること
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unite	中央演算処理装置
DI	Direct Imaging	マスク等を使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノのインターネット
LaPH	Laser Phosphor	蛍光体レーザー
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
RGB	Red Green Blue	光の3原色である赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）の頭字語
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<https://www.ushio.co.jp/jp/>